



新本っ子

学校通信 No. 20
令和3年 9月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】 令和3年9月6日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

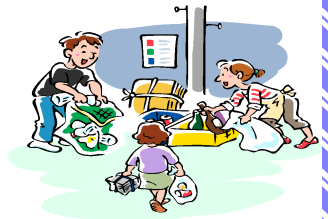
～資源回収 ご協力ありがとうございました !!～



5日(日)の資源回収に際しまして、PTA評議員の皆様には早朝よりご参加いただき、誠にありがとうございました。この度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、評議員の皆様と職員のみでの参加とさせていただきましたが、3密など感染防止にご留意の上、手際よく作業いただきました。お陰様で、無事、短時間で実施することができました。

また、保護者、地域の皆様におかれましては、雑誌、古新聞、空き缶などの資源、運搬等のご協力、誠にありがとうございました。

皆様方のこうした温かいご支援によって支えられ、得られた貴重な収益金であることを心に留め、児童の教育活動、PTA活動の充実のため、大切に使用させていただきます。



あきらめないで、何度でも【朝礼講話（9月6日）】

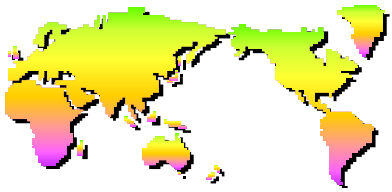
9月の品格目標はやりぬく心です。その中に、「あきらめないで、何度でも挑戦します。」というめあてが書かれています。今日は、あきらめないで粘り強く挑戦した人について紹介します。

かつて6千年もの長い間、世界中の人々を苦しめた「天然痘」という病気がありました。6年生の人は、社会の奈良時代の学習で、その病気の名前を聞いたことがあるかと思います。

その病気を地球上からなくすことに力を尽くした人のお話です。

その人の名前は、「蟻田 功（ありた いさお）」

こころ
やりぬく心
目標!
9月
自分ですと決めたことを最後までやりぬいていますか?
・あきらめないで、何度でも挑戦します。
・自分の目標に向かって努力し続けます。
総社市教育委員会



先生という日本のお医者さんです。

現在、新型コロナウイルスという人にうつる病気で世界中の人々が苦しんでいます。同じように天然痘も世界中に広がって多くの人々が苦しんだ、うつる病気でした。

この病気にかかると、とても激しい痛みが体中に広がり、苦しくて死んでしまう人もたくさんいました。

今も新型コロナウイルスで亡くなる人がたくさんいますが、昔は病院も薬もなく、天然痘に関する正しい情報もありませんでした。とても怖いですね。

さて、ヨーロッパにスイスという国があります。そこにWHOという組織があります。新型コロナウイルスのニュースでもこの名前はよく耳にしますが、難しい病気のことなどを世界に発信するところです。蟻田先生は、そのWHOで天然痘対策のチームリーダーとして活躍されました。

アフリカやインドなど多くの国に出かけられ、天然痘をなくすため、多くの人々の腕に予防するための薬を打たれました。正式には種痘と言いますが、皆さんが知っているワクチンの注射のようなものです。



また、蟻田先生はチームリーダーとして世界各国へ出向き、協力を求め、種痘をしてくれる仲間をたくさん作りました。そして、20年近く天然痘をなくすために力を尽くされました。ときには、戦争が行われている国に行って、命をかけて仕事をされたこともあります。

しかし、世界は広いので、そう簡単に天然痘をなくすことはできません。思い通りの効果が得られず、心が折れそうになることが何度もありました。ときには仲間がくじけそうになることもありました。そんなときは、自分にも言い聞かせるように「あきらめることは無意味だ。」と励まされたそうです。

世界中で種痘が行われました。そして、今から40年ほど前の1980年、ついに天然痘のウイルスは、地球上からなくなりました。



新型コロナウイルス感染症が今後どうなるかは、今はまだ分かりません。しかし、安心して生活できる日は必ず来ます。今はきついけれど、何事もあきらめずに、友だち、家の人、先生方と力を合わせ、できることを積み重ねていきましょう。